

76

中国国家図書館蔵の『龍樹菩薩眼論』抄本と 馮水校訂『龍樹菩薩眼論』について

永塚 憲治

公益法人 研医会 研医会図書館

中国国家図書館の古籍館には、衣関順庵の名が記された『龍樹菩薩眼論』の抄本（所蔵番号：132015）が所蔵されている。序文に依れば、順庵は文化六年に多紀家の所蔵の『医方類聚』から『龍樹菩薩眼論』を抄出した旨が書かれている。抄本には、「馮若海藏書印」、「馮水/珍秘」の藏書印が押されている。『中医人物詞典』に依れば、馮水は近代医家とあり、浙江の桐郷の出身で、号が若海であることが記されている。また『医方類聚』から『龍樹菩薩眼論』を輯佚し出版したことが記されている。そこで調査した所、上海図書館（所蔵番号：線普長373665）及び天津中医薬大学図書館（所蔵番号：490-RY-3）に、馮水による排印本『龍樹菩薩眼論』が所蔵されていることが分かった。馮水による排印本をみると、封面に「己卯中秋 桐郷馮水署」とあり、1929年に出版されたことが分かる。また衣関順庵の序が「影抄本序」と題して載せられている。排印本の自序や凡例に依れば、入手した日本抄本を底本したこと、日本抄本にはしばしば誤字や脱字があるので、学訓堂本『医方類聚』で校訂したこと、また順庵の抄本には欠けていた開内障眼用針法、鉤割及鍼鎌法、療眼後禁忌慎護、治小兒眼条例を学訓堂本で補った旨が記されていた。そこで、中国国家図書館所蔵の抄本と馮水による排印本を比較してみると、細部では異なる箇所もあるが基本的な所では一致したので、中国国家図書館所蔵の抄本が底本であると思われる。中国に於いて清末から民国にかけての時期に、日本人の手による伝統医学の書籍が多数出版されているが、この排印本もそのような潮流に乗ったものであろう。

書誌事項

中国国家図書館所蔵の『龍樹菩薩眼論』抄本

龍樹菩薩眼論 不分卷一冊 [江戸後期抄本]

日本四鍼眼装。香色厚手表紙，書高27.2×幅18cm。外題は表紙に「龍樹菩薩眼論」を墨書。全一冊。文化七年の衣関順菴の「叙」一葉，總目・目錄葉なし。巻首に「龍樹菩薩眼論」と題し，以下本文卷二十九葉。書末に跋葉なし。料紙は日本混ぜ漉き楮紙でやや黄變し，襖紙に日本楮紙を挿む。無界，無邊。一〇行・行二〇字，小字双行。「馮若海藏書印」，「馮水/珍秘」および「北京/図書館」の藏印記。虫損なし。所蔵番号：132015

上海図書館所蔵の排印本『龍樹菩薩眼論』

龍樹菩薩眼論 上下卷 附 馮氏眼科秘方 洗眼神方 中華民国十八年刊

中國四鍼眼装。萌葱色厚手表紙，書高26.3×幅15.8cm。外題は四周双邊の題箋表紙に「龍樹菩薩眼論 附 馮氏眼科秘方/洗眼神方」を印刷。全1冊。扉に「校訂龍樹菩薩/眼論二卷（以上，大字）/附馮氏眼科秘方 洗眼神方/己卯中秋 桐郷馮水署」の封面。己卯秋八月桐郷馮汝玠叙の「龍樹菩薩眼論叙」1葉，文化七年の衣関順菴識の「影抄本序」1葉，馮水の「校訂龍樹菩薩眼論序」1葉，「龍樹菩薩眼論/凡例」1葉，「龍樹菩薩眼論目錄」1葉。巻首に「龍樹菩薩眼論 卷上/桐郷馮水若海校訂」と題し，以下本文。上巻本文10葉，末に「龍樹菩薩眼論卷上校記」4葉を附す。下巻本文6葉，末に「龍樹菩薩眼論卷下校記」2葉を附す。「光緒戊申十月桐郷馮金鑑の「眼科秘方原序」半葉，光緒戊申馮汝玠謹識「原跋」半葉。「眼科秘方/桐郷馮金壽小州氏述 男汝璋校閱/兄金鑑心蘭校訂（以下雙行）姪汝琪玠校閱/汝玠校刊」と題し，以下本文4葉。書末に「刊誤」を貼り付ける。料紙は中國宣紙で黄變する。有界，四周双邊，版心「龍樹菩薩眼論（眼科秘方 洗眼神方）」，單黒魚尾，魚尾下間に葉次を刻す。每半葉巨郭，縦19.1×横11.6cm，一五行・行三三字，小字双行。藏書印は「王□/孫紀/念物」，不詳印記一類。書き込み等なし。虫損なし。所蔵番号：線普長373665